

參謀總長

國家機密

九月六日御前會議決定

「帝國國策遂行要領」ノ具體的研究

自昭和十六年十月二十三日
至昭和十七年四月三十日
連絡會議決定

決定

53

0354

國策遂行要領ニ付再檢討スヘキ要目

一、歐洲戰局ノ見透如何

(外、統)

二、對米英蘭戰爭ニ於ケル初期及數年ニ

巨ル作戰の見透シ如何

右ノ場合支那非占領地區ヲ利用スル
米英ノ軍事的措置判斷如何

(統)

三、今秋南方ニ對シ開戦スルモノトシテ

北方ニ如何ナル露聯的現象生スルヤ

(陸、海、外、統)

四、對米英蘭戰爭ニ於ケル開戦後三年ニ

巨ル船舶徵備量及消耗見込如何

(統)

五、右ニ關聯シ國內民需用船舶總送力並

主要物資ノ需給見込如何

(企)

六 對米英蘭戰爭ニ伴フ帝國豫算ノ規模
金融的持久力判斷

(藏)

七 對米英蘭諸戰ニ關シ獨伊ニ如何ナル
程度ノ協力ヲ約諾セシメ得ルヤ

(外、陸、海)

八 戰爭相手ヲ蘭ノミ又ハ英蘭ノミニ限
定シ得ルヤ

(外、統)

九 戰爭發起ヲ明年三月頃トセル場合

對外關係ノ利、害

(海、外、陸、統)

主要物資ノ需給見込

(企、陸、海)

作戦上ノ利、害如何

(統)

右ヲ考慮シ開戦時期ヲ何時ニ定ムヘキヤ (陸、海、外、統)

0356

右ニ關聯シ對米英蘭戰爭企圖ヲ拋棄
シ人造石油ノ増産等ニ依リ現狀ヲ維
持スルノ能否及利害判斷

(金、陸、海)

一〇、對米交渉ヲ續行シテ九月六日 御前
會議決定ノ我最少限度要求ヲ至期間
内ニ貫徹シ得ル見込アリヤ

(外、陸、海、統)

我最少限度要求ヲ如何ナル程度ニ緩
和セハ妥協ノ見込アリヤ右ハ帝國ト
シテ許容シ得ルヤ

(外、陸、海、統)

十月二日米覺書ヲ全的ニ容認セル場
合帝國ノ國際地位就中對支地位ハ專
變前ニ比シ如何ニ變化スルヤ

(外、陸、海、統)

一六、對米英蘭開戦ハ直轄例ノ決意ニ如何
ナル影響ヲ與フヘキヤ

(外、外、海)

原
本
密

一、歐洲戰局ノ見透如何

現情勢ニ於テハ獨英、獨「ソ」媾和ノ算少ナク持久戰トナル算大ナリ

56

然レトモ獨ハ早期媾和ヲ希望シアルヲ以テ戰局ノ推移、英「ソ」ノ態
度ニ依リテハ案外媾和ノ實現ヲ見ルコトナキヲ保セヌ

說
明

一、獨軍ハ既ニ「モスコ」ノ周邊ニ迫リ歐「ソ」ニ於ケル「ソ」野戰軍

ハ甚大ナル打撃ヲ蒙リ今次獨「ソ」戰ハ獨作戰ノ成功裡ニ一段落ヲ



0358

告クヘシト雖「スターリン」政權トシテハ對獨屈伏ハ自己政權ヲ崩

壞ニ導クノ虞アルヲ以テ今ヤ比較的鞏固トナリタル其政治的基礎

依據シ不十分ナカラ「ソヴエツト」以東ノ資源ト米英ヨリノ支援トニ

頼リ消極的抵抗ヲ策スヘク「ソ」一面獨「ソ」戦カ民族戦ノ様相ヲ呈シツ

ツアル事實ニ鑑ミルニ「ソ」民族ノ抗戰意識ハ當分急速ニ衰亡セザ

ルヘシ

獨トシテハ從來其首腦者カ瀕シタル所ニ依レハ共產主義ニ對スル徹

△
底的打倒ヲ期スヘク又「ソ」ニ對シ再起反響不可能ノ状態ニ迄打倒
ヲ與フルニ非レハ今次對「ソ」開戦ノ意義無カルヘク寛容ナル條件

ヲ以テ處和スルカ如キ公算渺シト謂フヘシ

ニ莫トシテハ傳統アル國民性ト大國タルノ矜持トヲ有シ且獨「ソ」戰

ヲ利用セル國防障礙力ノ恢復ニ依リ戰爭遂行上相當ノ自信ヲ有スヘ

ク獨ニ對シ容易ニ屈伏ススシト莫豫想セラレズ勢ヒ獨英戰モ長期化

スルモノト判断モラル

0360

三然レトモ既ニ「ウクライナ」ノ寶庫ヲ確保セル獨ハ今後高架索ノ油

田ヲ掌握シ進ンテ近東、「スエズ」ヲ攻略シ茲ニ歐洲大陸ヲ制覇シ

テ不敗ノ態勢ヲ樹立シ歐洲新秩序ノ第一段階ヲ確立シ得ヘキヲ以テ

必スシモ一舉ニ英國ヲ蠶滅スルノ要ナク從ツテ更ニ其レ以上ノ地歩

ヲ擴大スルノ要ナカルヘク其對英本土攻略ニ着手シ上陸成功スルカ

若ハ對英逆封鎖奏功セハ英ノ決意ニ動搖ヲ與ヘ「ソ」勢力ノ窮迫ト

モ關聯シ歐洲ニ協和ノ實現ヲ見ルコトナキヲ保セス

0361

四尙獨軍ノ對英本土上陸ハ不可能ニハアラサルモ其危險性蓋大ナルヲ

以テ來春早々斷行セラレサル公算尠カラス又獨ニシテ對英本土上陸

ニ成功セル場合英艦隊カ太平洋方面ニ逃避セント説クモノアルモ四

千七百万ノ母國同胞ヲ見棄テテ之ヲ行フカ如キハ獨カ英國民ニ對ス

ル給養ノ責ヲ負ハサル旨意志表示セルニ鑑ミルモ人道上起リ得サル

ヘシ

機密

三、對米英蘭戰爭ニ於ケル初期及數年ニ亘ル作戰的見透シ如何

決定

右ノ場合支那非占領地區ヲ利用スル米英ノ軍事的措置判斷如何

一、陸軍作戰

南方ニ對スル初期陸軍作戰ハ相當ノ困難アルモ必成ノ確算アリ

爾後ハ海軍ノ海上交通確保ト相俟チ所要地域ヲ確保シ得ヘシ

二、海軍作戰

初期作戰ノ遂行及現兵力關係ヲ以テスル遊撃作戰ニハ勝算アリ

0363

初期作戦ニシテ適當ニ實施セララルルニ於テハ我ハ南西太平洋ニ於ケル戰略要點ヲ確保シ長期作戦ニ對應スル態勢ヲ確立スルコト可能ナリ

而シテ對米作戦ハ武力的屈敵手段ナク長期戦トナル覺悟ヲ要シ長期戦ハ米ノ軍備擴張ニ對應シ我海軍戦力ヲ適當ニ維持シ得ルヤニ懸リ戦局ハ有形無形ノ各種要素ヲ含ム國家總力ノ如何及世界情勢ノ推移ノ如何ニヨリ決セララルル所大ナリ

0364

三米英ノ支那ニ於ケル非占領地區ノ軍事利用ハ主トシテ飛行基地ナ
ルモ現在ノ狀況及將來ノ帝國ノ南方作戰ニ依ル交通遮斷ニ鑑ミ大ナ
ル顧慮ヲ要セサルモノトス尙支那沿岸ノ軍事利用ハ帝國海軍ノ南
方海洋制覇ニ依リ不可能ナラシメ得ヘシ

國家機密

三、今秋開戦スルモノトシテ北方ニ如何ナル關聯的現象生スルヤ

「ソ」聯ハ開戦願初對日積極行動ニ出ツル算少キモ米ハ極東「ソ」領

ヲ軍事的地ニ強用スル算多ク「ソ」聯亦我ニ對シ各種ノ策動ヲナス

ノ覺悟アルヲ要ス

尙爾後ノ情況ニヨリテハ日「ソ」開戦ヲ誘發スルノ可能性アリ

說明

二、「ソ」聯軍需工業ハ「ヴォルガ」以西ノ地區ヲ失フコトニ在リテニ



0366

割五分ヲ殘スニ過キサルコトナリ歐「ソ」赤軍ハ獨「ソ」戰ニ依
リテ徹底的打撃ヲ受ケ極東赤軍ハ之カ増援ノ爲今春來十一師團強、
戰車少クモ一千輛、飛行機一千二百機以上ヲ歐「ソ」方面ニ西送シ
其戰力ハ物心兩面ニ亘リ低下シツツアリ、加之極東「ソ」軍ハ今ヤ
「スターリン」政權ニ選サレタル最後ノ總豫備タル性質ヲ有スルニ
至レリ、從ツテ日本カ南方進出ヲ開始スル場合英「ソ」軍豪同盟ハ
極東ニモ擴張セラレ米「ソ」間ノ提携モ促進セラレテ米英ハ「ソ」

0367

聯ニ對シ對日攻勢ヲ使喚スヘキモ我關東軍ノ隱存スル限り「ソ」聯
カ進攻ヲ敢テシ來ルコト無カルヘク只滿洲支那ニ於テ共產黨ヲ利用
スル破壞的工作、思想宣傳等ノ謀略的工作ヲ以テ我ヲ牽制スルニ止
ルヘシ。

62

三然レトモ米ハ「ソ」ニ對シ北方ヨリノ對日攻撃據點トシテ極東「ソ」
領ノ一部ヲ飛行基地乃至ハ潜水艦基地トシテ強制利用スルコトアル
ヘク「ソ」トシテハ之ヲ拒否スルコト困難ナルヘク從テ一部潜水艦

0368

飛行機等ニ依ル策動ヲ試ムルコトアルヘシ斯ル事カ原因トナリテ狀況ノ推移ニ依リ日「ソ」開戦ニ導カルル危險ナシトセス、我カ南方攻略カ長期戦ニ陥ル場合若ハ「ソ」ノ内部的安定状態カ恢復ニ向ヒタル場合ハ極東赤軍カ漸次攻襲的姿勢ニ轉シ來ルヘキ可能性アリトス

註 獨「ソ」開戦後ノ日「ソ」交渉ニ於テ「ソ」政府ハ

(一) 日「ソ」中立條約ヲ遵守スヘシ

0369

(二) 日本ヲ對照トスル軍事同盟ハ結ハサルヘシ

(三) 極東ニ於テ第三國ニ軍事的基地ヲ與フル如キコト無カルヘ

シ等ノ意向ヲ明ニセルモ右ハ獨「ソ」戰ニ對處スル「ソ」

聯ノ外交方針ト見ル可ク日本カ南方ニ進出シタル場合ニハ

事態ハ著シク異リ來ルヲ以テ此場合「ソ」聯トシテハ前述

ク見透ニ應スル措置ヲ採リ來ルモノト見サルヘカラス

國家機密

六對米英蘭戰爭ニ伴フ帝國ノ財政金融的持久力判斷

軍事行動ヲ遂行シ且國民生活ヲ維持スルニ必要ナル物的方面充足セ

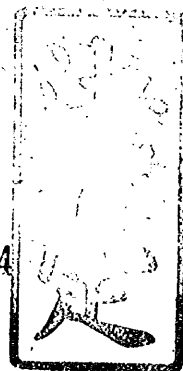
ラルル限り財政金融ハ持久可能ナリ

說明

物的方面ニ關シ本文所掲ノ要件充足セラルル限り財政金融ニ關シテハ

強度ノ政治力發揮ノ下ニ各種施策ヲ綜合的ニ實施スルコトニ依リ之カ

持久可能ナルモノト認ム



0371

尙占領地ニ關シテハ相當長期ノ間一般民衆ノ生活ヲ顧慮スルノ餘力ナ

シト考ヘラルルヲ以テ當分搾取の方針ニ立ツノ巴ムヲ得サル事情ニ在

リ、但シ治安ノ維持及現地勢力ノ使用ヲ確保スル爲ニ必要ナル最少限

度ニ於テハ物資ノ供給ヲ爲ササル可カラス、尤モ其ノ限度ハ現地住民

ノ文化低キコト及天産比較的豊富ナルコトニ鑑ミ支那等ニ比スレハ負

擔少ナキモノト認ム

0372

國家機密

(七) 對米英蘭開戰ニ關シ獨伊ニ如何ナル程度ノ協力ヲ約諾セシメ得ルヤ

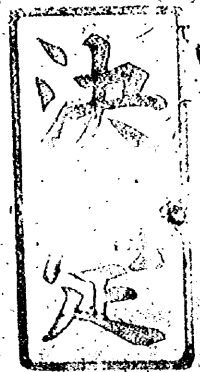
帝國カ對米英蘭作戰ヲナス場合帝國トシテ要望シ得ル事項ハ大ナル期

待ヲカケ得サルヘキモ我決意ヲ知ラシメ作戰協定ヲ提議スル場合ハ差

當リ概ネ左ノ程度ヲ約諾セシメ得ヘシ

(一) 對米宣戰

○(二) 日獨伊三國ハ米英ヲ相手トスル單獨媾和ヲ、又右三國ハ英一國ノシ
ヲ相手トスル媾和ヲ爲サス



0373

(三) 近東作戦積極化ニ依ル對日呼應

(四) 通商破壊戰ニ對スル協力

説明

一 帝國カ對米英蘭戰爭ヲ開始スル場合獨伊ニ於テ之ヲ歡迎スヘキハ勿

論ナルヘキモ戰爭ノ勝敗ヲ決スルカ如キ作戰上ノ協同動作ヲ執リ得

ル範圍ハ比較的少キ爲假令三國間ニ協定ヲナスモ其ノ効果ニ大ナル

期待ヲ顯ケ得サルモノト豫期スルヲ可トス

ニ帝國ニ執リ必要ナル事項ハ獨伊カ對英宣戰ヲ行ヒ米ノ戦力ヲ極力大

西洋ニ牽制スルコト並ニ媾和ニ關シテ共同戰線態勢ヲ崩ササルコト

ノ二點ナリトス

而シテ右ハ米獨閩ノ現状及「ヒ」總統ノ對英攻勢企圖ノ現状ニ照シ

約諾拒否ノ態度ニ出ツヘシトモ思ハレヌ

○ 三 作戰上ノ共同動作ハ各々ノ受持範域ニ於テ可能ナル事項ヲ付之ヲ協

定シ得ヘク獨「ソ」戰今後ノ見透シトシテ獨カ近東方面ニ作戰スル

0375

公算ハ比較的太ニシテ近東作戦ニ依ル對日呼應ハ帝國ノ南方作戦ト
時期的ニ實現可能ナリ

通商破壊戦ニ關スル協同動作ハ太平洋、印度洋等ヲ主與舞臺トシテ
之ヲ實現シ得ルコト論ヲ俟タス

0376

國家機密

ハ戰爭相手ヲ蘭ノミ又ハ英蘭ノミニ限定シ得ルヤ

米英ハ不可分ニシテ戰爭相手ヲ蘭ノミ又ハ英蘭ノミニ限定スルコト不

可能ナリ

説明

一、政略上ノ理由

英、米、蘭間ニハ帝國ノ對南方武力進出ノ場合ニ於ケル共同防衛ニ

付了解アルハ殆ント疑ナキ所ニシテ米英ノ實際採ルヘキ態度ハ帝國

決定

0377

ノ武力的南進ノ時期方、當時ノ國際情勢、米英兩國ノ國內事情ニ依
リ多少ノ差異アルベキモ、結局ニ於テ戦争相等ヲ圖ルハ英領ノミニ限
定スルコトニ到底不可能ナルベシト見テ、米英兩國ノ關係ハ、
現情勢ヲ基礎トスル米英兩國ニ對スル判斷左ノ通

(1) 英國ノ濠洲、加奈陀ヲ含ム

從來ノ英國側言動ニ鑑ミ帝國カ印ニ進出スル場合英國ハ自衛ノ
爲直チニ帝國ニ對シ武力的ニ對抗スル決意ヲナスコト略確實ト見

サルヘカラス

(四) 米 國

前項ノ如キ場合英國ハ直チニ米國ノ援助ヲ求ムヘク米國ハ即時參

戰セサル場合ニ於テモ急速ニ軍事的措置ヲ強化シツツ一應各種ノ

牽制示威等ノ段階ヲ經ヘク況ンヤ帝國トノ關係ニ於テハ獨逸ニ對

シ探レル態度ニ比シ其ノ參戰態度著シク急步調ナルヘキヲ豫期セ

サルヘカラス並ニ米國ハ

(1) 南西太平洋ヲ以テ自國ノ發言權國內ト思考シアルコト

(2) 同方面ヨリノ物資（「ゴム」、錫等）ヲ必要トスルコト

(3) 比島ニ對シ重大脅威ヲ受クルコト

(4) 支那問題ニ對スル米國ノ發言權ヲ全面的ニ失フニ至ルヘキコト

(5) 歐洲戰ニ比シ輿論ノ刺戟大ナルコト

等ノ事情アリテ對岸ノ火災視シ得サルヲ以テナリ

三作戦上ノ理由

(1) 米英兩國ヲ措イテ蘭印作戰ヲ遂行セントシ或ハ米ヲ措イテ對英作

戰ニノミ終始セントスルカ如キハ我ヨリ求メテ敵ニ鞠中セララル

ノ戰略態勢ヲ作爲スルモノニシテ新嘉坡、香港（比島）等ニ對シ

作戰線ノ弱點タル側面ヲ暴露スルモノニシテ作戰實施上爲シ得サ

ル所ナリ

(2) 對英作戰對米作戰ハ現状ニ於テモ既ニ先制攻戰ニ依ルニ非レハ實

施極メテ困難ニシテ對蘭戰ヲ開始セル後ニ於テ對英對米戰ヲ開始

セサル可ラサルコトナラハ我カ先制攻撃ハ不可能トナル現在ノ

彼我兵力比ニ於テ既ニ然リ況ンヤ米英今後ノ急速戦備増強ノ可能

性大ナルヲ想ハハ先制攻撃ノ要愈緊切ナリ

(ハ) 馬來及比島ヲ除外シテハ我強固ナル戰略態勢ハ確立シ得ス

0382

國家機密

九戰争發起々明年三月頃トセル場合

(一) 對外關係

帝國ノ國際環境ヨリスレハ明年三月頃トスルヲ有利トス

說明

(1) 獨蘇勢ノ結果歐蘇軍ハ激減的打撃ヲ蒙リ今冬ヨリ明春ニ亘リ再建ニ

忙殺セララルヘク從テ極東蘇軍ノ移動モ相當程度豫想セラレ且國內ノ

動搖モ益々増大スヘキヲ以テ國力ハ弱體化スルモ日米戰ノ場合蘇米



ノ聯機ヲ容易ナラシムル態勢トナルヘシ

(四) 情勢ノ如何ニ依リテハ蘇獨和平ノ斡旋ヲ爲ス等蘇聯ヲ中心トスル外
交措置ヲ講シ得ル機會モ絶無ニアラサルヘシ

(六) 獨軍ノ冬期作戰ハ「アフリカ」近東中亞方面ヲ目標トスルモノト豫

期セララルル處英國ハ同方面ノ防戰ニ努メサルヘカラス

又獨軍ノ英本土上陸作戰ニ備フル等歐洲方面益々多事トナリ從テ東
亞ニ於ケル地位ハ自然弱メラレ獨軍ノ牽制的役割ハ現在ヨリハ效果

的ナルヘシ

(二)米國カ明年三月迄ニ參戰セサル場合ニモ參戰的態度ハ更ニ前進スル

コトトナルヘク從テ國內的ニハ内政上經濟上ノ難問題擧出シ他方軍

專的ニモ太平洋ニ於ケル勢力ヲ分割セサルベカラサルコトトナル可
能性アリ

(三)明年三月迄ノ間ニ我方ノ經濟的困難ハ寧口増大スルモノト認メラル
ルニ對シテハ對手國ニモ準備期間ヲ與フルノ惧アリ

(1) 米英蘭支經濟的、政治的、軍事的結合ヲ益々強固ナラシム

(2) 作戰上ノ利害

作戰上ヨリスレハ明年三月頃トスル場合ハ極メテ不利ニシテ積極的作戰

ハ不可能トナルヘシ

說 明

一、日米軍備比ハ時日ノ經過ト共ニ不利トナル特ニ航空軍備ノ懸隔ハ急激

ニ増大スヘシ

三時日經過セハ米ノ比島防備及其ノ他ノ戰備ハ急速ニ進捗スヘシ

72

三米英蘭支ノ共同防備關係ハ更ニ進展シ南方諸域ノ防備力ハ急速ニ強化

スヘシ

(1) 航空兵力

比島、馬來、蘭印ニ於ケル綜合航空兵力ハ從來二ヶ月間ニ一割強ノ

割合ヲ以テ増加シアリ今後國交緊張セハ増加率ハ益々増大スヘシ

比島ニ於テハ五ヶ所馬來ニ於テハ六ヶ所ノ航空基地準備中ニシテ本

0387

年末迄ニハ略々完成スヘシ

(四) 陸軍兵力

比島、馬來ノ陸軍兵力ハ増大シツツアリ特ニ馬來ニ於テハ一ヶ月四千名ノ割合ニテ増加セリ

四明春以降トナレハ北方ニ於ケル作戰實施容易ナル季節トナリ南北同時
戦トナル算増大ス

0388

(四) 右ヲ考量シ開戦時機ヲ何時ニ定ムヘキヤ

右ヲ考量シ開戦時期ハ週クモ

トナスヲ要ス

國家機密

一〇ノ(一) 對米交渉ヲ續行シテ九月六日御前會議決定ノ我最少限度要求

ヲ至短期間内ニ貫徹シ得ル見込アリヤ

至短期内ニ我方要求ヲ貫徹シ得ル見込無シ

說明

米國側從來各種ノ提言及態度ニ徴スルニ一方ニ於テ軍備ノ整備完了

ニ至ル迄ハ日米間ニ事ヲ構ヅルヲ避クル爲メ國交調整ニ名ヲ藉リテ交

渉遷延策ニ出テツツアリトノ疑アリ又他方帝國ノ真意ノ態度及其ノ



意圖スル對外政策ヲ果シテ平和的手段ニ依リ遂行セシムルモノナ
リヤ否ヤニ付疑念ト不安ヲ懷キ居リ所謂四原則ヲ固執スル結果我方
具體的提案中支那及佛印ニ於ケル駐兵及撤兵問題ヲ最モ重視スルト
共ニ此等諸點ニ付日本側ヨリ満足スヘキ約諾ヲ得ル迄ハ交渉ヲ成立
セシムル意圖無キモノト認メラル、依テ我方案ヲ至短期内ニ受諾セ
シムルコトハ殆ト不可能ト言フノ他ナシ

0391

國家機密

決定

一、對米英蘭開戰ハ重慶側ノ戰意ニ如何ナル影響ヲ與フヘキヤ

75

0392

一、日本ノ對米英蘭開戰ハ蔣介石ヲシテA B C D陣ノ團結ニ依ル對日

長期抗戰ノ決意ヲ益々強固ナラシメ當初ハ志氣ヲ昂揚シ米英等ト

ノ提携ヲ愈々鞏固ニシ飽迄抗日戰ニ徹底シ日支全面和平ノ成立ハ

少クトモ全戰局ノ終結迄延期セラルヘシ

二、上海、香港等要衝據點ノ喪失、帝國人南進發展ニ依ル緬甸「ルイ

ト」ノ輸送杜絶我南方作戰ノ效果維持ニ依リ南洋華僑ノ整齊中止

等トナリ財政經濟上ノ逼迫ヲ促進シテ其ノ實質的抗戰力ハ漸減シ
戰力ノ遞減ト相俟ツテ一般大衆ハ勿論重慶政權主流ノ繼續意志ニ
モ重大ナル影響ヲ及ボシ灰色將領中南京側ニ寢返ルモノ逐次其ノ
數ヲ増加シ遂ニ重慶側統一戰線ノ分裂ヲ來シ蔣政權ハ悉々微弱化

スヘシ

0393